

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

教養を身に付けるには世界史、宗教、地政学の順に学ぶ 出口治明（ライフネット生命保険会長兼 CEO）

1. 「地政学」と文字にすると何だか小難しい学問のように感じますが、簡単に言えば「国は引越せない」ということです。引越せないことを前提に、政治や経済や外交を考えてみましょう、というのが地政学です。
2. 世界のビジネスマンは大学で一生懸命勉強して、社会に出ても勉強を続け、教養を身に付けている。われわれが彼らと対等に商売をしようと思えば、勉強する以外に方法はないと思います。グローバル化の時代を迎えていることは今や誰も否定できません。日本企業に勤めていても外国人との交渉は必然的に増えています。そんな中で、歴史も地政学も知らないとうなるのでしょうか。交渉相手から下に見られ、交渉を有利に進めるのが困難になることは必至です。
3. もちろん交渉は教養だけで決まるわけではありません。しかし、人とのコミュニケーションにおいて雑談は非常に重要です。人は雑談を通じて相手の力量を測るからです。また、教養を身に付けるには、世界史から始めるのがよいと思います。世界の歴史の大まかな流れをざっと頭に入れておく。この次に宗教。そしてその後に地政学です。地政学とは国と国との関係性を研究する学問なので、各国の歴史や宗教を知っておけばより理解が深まるでしょう。私は何事もまずは全体をつかまないと物事の本質は理解できないと思っています。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2016年2月13日号）

経営者のための経済学

マイナス金利時代の理解と備えが必要

中島 厚志（経済産業研究所理事長）

1. 先進国経済は、少子化や生産性の伸び悩みなどからの成長率が低下しており、イノベーションや生産性向上等が不可欠となっている。ここで、主要先進国が金融生産で量的緩和に加えてマイナス金利も採用した意義は大きい。低調でデフレに向かいかねない経済状況の中で、マイナス金利によって設備投資などが促され、景気が支えられるとともにイノベーションも進むことが期待されるからである。また、日本にとっては、マイナス金利による投機的な円高阻止が、低調な世界経済と原油安にあっても企業収益と安定した物価上昇に直結する。
2. 一方で、老後資産の形成と人々の将来不安の軽減は欠かせず、マイナス金利導入の効果はしっかり吟味しなければならぬ。日銀の果敢な決断力は高く評価され、今後についても大きな期待が寄せられるが、国民にも新たなマイナス金利時代の理解と備えが求められる。

（参考：「WEDGE」：2016年3月号）

経営者のための理念・哲学

名こそ惜しけれ

石川 真理子（作家）

1. 昔の話は古臭いということで片づけてしまわないうで、そこから「名こそ惜しけれ」ということをいまの方々に学んでいただきたいと私は思います。私たちは、たくさんのご先祖様が一生懸命に生きて、命をつないでくださった結果、いまここにあるわけです。
2. そうである以上、このいただいた命を精いっぱい生きることは、ご先祖様に対する恩返しであり、それが名を惜しむ生き方だと思います。いい加減な生き方をすると、ご先祖様の名を汚してしまいかねず、また、子孫にまで汚名を着せることになりかねない。ですから、名を惜しむという意識を持って生きることはとても大切なことではないかと私は思います。

（参考：「致知」2016年4月号）

古典に学ぶ

孔子の教えは追認したにすぎない

（解説）厳密な倫理の教えについては、孔子の教えが武士道の最も滋養にとむ源流だった。孔子の人倫五常（仁義礼智信）の道の論述、主従（支配する者と支配される者）、父子、夫婦、長幼、朋友は、孔子の著作が中国から導入される前から、民族本能がすでに確認していたことの追認にすぎなかった。

（参考：佐藤全弘訳新渡戸稲造著「武士道」：教文館）